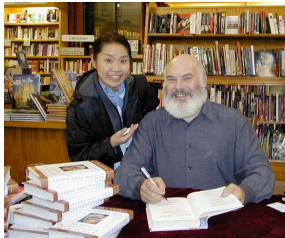


自分の山を登る Part III

競争ではなくて

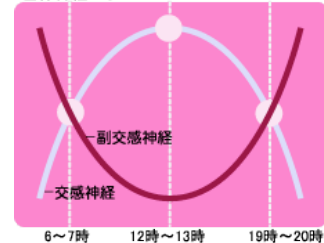
永田 円了

アンドルー・ワイル博士の呼吸法



自律神経を調整
交感神経 vs. 副交感神経
4・7・8 の呼吸法

自律神経のリズム



BUSH AT WAR Bush大統領の国会での演説

- ◆明治時代、米国から Competition というコトバが導入された
- ◆福沢諭吉がそのコトバに、「競争」という訳語をつけた

自殺 82万人／年／世界

殺人 52万人／年
紛争 31万人／年

日本 : 自殺は年間3万人で世界一(2002年現在)
十万人あたりの自殺者は、14.5人
殺人による死者は、0.6人

世界保健機構(WHO)の報告による

北日本 10/4/2002

自分を生きたい、でもなかなか生きられない

自分の価値を何によって決めるのか

社会的評価で自分の価値を決める → 人の山を登っている人
 自分の価値は自分で決める → 単に我(エゴ)をはっているだけ
 社会的評価もほしい、でも自分の山も登りたい → 漂う人

1970年、当時の猿学の常識を覆す発見があった

本当はボスなどいない / 野生の猿には、序列も競争もない / 一頭一頭が自由きままに生きている
 ほれぼれする、これこそ生きることの本質

では、何故サル山にボスがいる序列社会だと思われていたのか

それは、競争原理にどっぷり浸かった人間社会を、サルの群れに投影していただけだった
 つまり、人間の考えた幻想であった

では、何故人間社会はボスがいる序列社会になるのか

価値が一元化された社会だから

(永田 円了のホームページ: www.enryo.jp)